令和７年度採用
山梨県公立学校教員選考検査

高等学校・保健体育　問題

「始め」という合図があるまで，このページ以外のところを見てはいけません。

注　　意

1　この問題は**８問４ページ**で，時間は**60分**です。

2　解答用紙は，**別紙**で配付します。**「始め」**の合図で始めてください。

3　**解答**は，それぞれの問題の指示に従って**解答用紙**に記入してください。

4　**「やめ」**の合図があったら，すぐやめて係の指示に従ってください。

5　**解答用紙を持ち出してはいけません。**

令和７年度採用　山梨県公立学校教員選考検査

高等学校 保健体育

1　次の（1），（2）の問いに答えよ。

（1）　次の文章の（　ア　）～（　オ　）に当てはまる語句を記せ。

> がんは，人の体の細胞の（　ア　）が傷つき，細胞が本来の機能を失って（　イ　）に増殖するようになる疾患のことである。様々な臓器や筋肉，骨，（　ウ　）ががんになる可能性がある。日本人に多いがんは，胃がん，大腸がん，肝がん，肺がん，乳がんなどであり，他国とは異なる。現時点の科学的根拠によれば，がんの発生の要因の大部分は喫煙や飲酒などの（　エ　）によるもので，遺伝的要素は非常に少ない。また，（　オ　）や細菌の感染も，体の正常な細胞をがん化させる原因となるため，がん発生の主な要因の１つである。

（2）　次のA～Cは，がんの治療方法である。①～③に当てはまる語句を記せ。なお，同じ番号には同じ語句が入るものとする。

> A　がんをメスなどで切除する：（　①　）療法
> B　抗がん剤などにより全身のがんの増殖を抑える：（　②　）療法
> C　がん細胞に（　③　）を当て，遺伝子に作用してがん細胞を消滅させる：（　③　）療法

2　次の（1）～（4）の問いに答えよ。

（1）　水泳では，水中を進む場合には，慣性の働きを最大限に維持するため，流線形の姿勢を保つことが重要である。この姿勢を何というか，記せ。
（2）　バスケットボールで，攻守が入れ替わり、ボールをコントロールしたチームは，何秒以内にシュートしなければならないか，記せ。
（3）　ソフトボールの投手が，ボールを下からすくうようなつもりで，上向きの回転を与える変化球を何というか，記せ。
（4）　ハンドボールで，フリースローとなる反則のうち，空中にボールをはずませ，直後にコントロールして再びとる反則のことを何というか，記せ。

3　次の（1）～（3）の問いに答えよ。

（1）　サッカーのドリブルの技術である「ランウィズザボール」について，説明せよ。
（2）　長距離走では自己に適したペースを維持して走ることが重要である。その理由を「乳酸」という語句を使用し，説明せよ。
（3）　柔道の抑え技に対する応じ方を三つ記せ。

4　次の文章は，高等学校学習指導要領「第２章　第６節　第２款　第１　体育　３　内容の取扱い」の一部である。①～⑨に当てはまる語句を，下のａ～ｌからそれぞれ一つ選び，記号で記せ。なお，同じ番号には同じ記号が入るものとする。

（１）　内容の「A 体つくり運動」から「H（　①　）」までの領域については，次のとおり取り扱うものとする。

ア　「A 体つくり運動」及び「H（　①　）」については，各年次において全ての生徒に履修させること。

イ　入学年次においては，「B（　②　）」，「C（　③　）」，「D（　④　）」及び「G（　⑤　）」についてはこれらの中から（　⑥　）以上を，「E（　⑦　）」及び「F（　⑧　）」についてはこれらの中から（　⑥　）以上をそれぞれ選択して履修できるようにすること。その次の年次以降においては，「B（　②　）」から「G（　⑤　）」までの中から（　⑨　）以上を選択して履修できるようにすること。

a　器械体操	b　球技	c　二つ	d　スポーツ概論
e　水泳	f　器械運動	g　陸上運動	h　武道
i　陸上競技	j　ダンス	k　一つ	l　体育理論

5　次の文章は，高等学校学習指導要領「第２章　第６節　第３款　各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い」の一部である。（　ア　）～（　エ　）に当てはまる語句をそれぞれ記せ。

２　内容の取扱いに当たっては，次の事項に配慮するものとする。

（１）　言語能力を育成する言語活動を重視し，（　ア　）を立てて練習や作戦について話し合ったり身振りや身体を使って動きの（　イ　）を図ったりする活動や，個人及び社会生活における健康の（　ウ　）や回復について話し合う活動などを通して，（　エ　）や論理的な思考力の育成を促し，主体的な学習活動の充実を図ること。

6　次の文章は，高等学校学習指導要領解説　保健体育編　体育編　「第１部　第２章　第２節　「体育」　Ａ　体つくり運動［入学年次の次の年次以降］　（３）学びに向かう力，人間性等」の一部である。下の（１），（２）の問いに答えよ。

（３）体つくり運動に主体的に取り組むとともに，互いに助け合い高め合おうとすること，一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとすること，（　①　）に貢献しようとすることなどや，健康・安全を確保すること。

体つくり運動に主体的に取り組むとは，「する，みる，支える，（　②　）」などの学習に主体的に取り組もうとすることを示している。そのため，主体的に学習に取り組むことは，生涯にわたる豊かな（　③　）の継続につながることなどを理解し，取り組めるようにする。

互いに助け合い高め合おうとするとは，運動を行う際，互いの心の変化に気付いたり，仲間の学習を励ましたり，必要に応じたサポートをしたりして，自己や仲間の課題の達成に自ら取り組もうとすることを示している。そのため，互いに助け合い高め合うことは，安全を確保し，事故を未然に防ぐこと，自己や仲間の課題に応じた体ほぐしの運動や（　④　）の立案や見直しなどの主体的な学習を行いやすくすること，共通の目標をもち，共に励まし合って高め合う仲間をもつことが自らの運動の継続に有効であることなどを理解し，取り組めるようにする。

一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするとは，体の動きには，体力や性別，（　⑤　）等に応じた違いがあることを受け入れ，それらに応じて共に運動を楽しむための仲間との関わり方や運動の仕方を調整することを示している。そのため，一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとすることは，スポーツに参加しやすい環境を作ることにつながるとともに，スポーツを通した（　⑥　）の実現につながることを理解し，取り組めるようにする。

（中略）

健康・安全を確保するとは，主体的な学習の段階では，体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うこと，けが等を未然に防ぐために必要に応じて，（　⑦　）の予測をしながら回避行動をとることなど，体の状態のみならず心の状態にも配慮し，自己や仲間の健康を維持したり安全を保持したりすることなどを示している。

（１）　①～⑦に当てはまる語句を記せ。

（２）　体つくり運動について，「学びに向かう力，人間性等」を身に付けるために，指導に際して大切にすべき事項を，次の語句を全て使用して説明せよ。

「生徒自身」，「意義や価値」，「具体的な取り組み方」

7　次の文章は，高等学校学習指導要領解説　保健体育編　体育編　「第１部　第２章　第２節　保健　３　内容　（１）現代社会と健康　ア　知識（オ）　精神疾患の予防と回復」の一部である。下の（１）～（３）の問いに答えよ。

> ㋐　精神疾患への対処
> 精神疾患の予防と回復には，身体の健康と同じく，適切な運動，（　①　），休養及び睡眠など，調和のとれた生活を実践すること，早期に心身の不調に気付くこと，心身に起こった反応については体ほぐしの運動などのリラクセーションの方法で（　②　）を緩和することなどが重要であることを理解できるようにする。また，心身の不調時には，（　③　），抑うつ，焦燥，不眠などの精神活動の変化が，通常時より強く，（　④　）に生じること，心身の不調の早期発見と治療や支援の早期の開始によって回復可能性が高まることを理解できるようにする。その際，自殺の背景にはうつ病をはじめとする精神疾患が存在することもあることを理解し，できるだけ早期に専門家に援助を求めることが有効であることにも触れるようにする。さらに，人々が精神疾患について正しく理解するとともに，専門家への相談や早期の治療などを受けやすい（　⑤　）を整えることが重要であること，偏見や（　⑥　）の対象ではないことなどを理解できるようにする。

（１）　①～⑥に当てはまる語句を，下のア～シからそれぞれ一つ選び，記号で記せ。

ア　圧力	イ　持続的	ウ　差別	エ　抑圧	オ　情動	カ　社会環境
キ　食事	ク　断続的	ケ　行政	コ　食欲	サ　不安	シ　ストレス

（２）　精神疾患の発症年齢の傾向について，適切なものを下のア～エから一つ選び，記号で記せ。

ア　精神疾患患者の５０％は１４歳までに発症し，７５％は２４歳までに発症している。
イ　精神疾患患者の５０％は１０歳までに発症し，７５％は１９歳までに発症している。
ウ　精神疾患患者の３０％は１４歳までに発症し，９０％は２４歳までに発症している。
エ　精神疾患患者の３０％は１０歳までに発症し，９０％は１９歳までに発症している。

（３）　ストレスに関連する精神疾患の一つで，人的災害，自然災害など，死に直結するような強いストレスの後に，その場面がフラッシュバックしたり，神経過敏などの症状が１か月以上続くことが主な症状である精神疾患を何というか，記せ。

8　次の（１）～（４）について，説明せよ。

（１）　スポーツ基本計画
（２）　デフリンピック
（３）　死戦期呼吸
（４）　ヘルスリテラシー

高・保健体育１

受検番号		氏　名	

※印のところは記入しない

※

切り取らないこと

※

令和７年度採用　山梨県公立学校教員選考検査

高等学校　保健体育　解答例

1 16	（1）	ア	遺伝子	イ	無秩序	ウ	血液、皮膚など	エ	生活習慣	オ	ウイルス
	（2）	①	手術				②	化学			
		③	放射線								

各２点

2 8	（1）	ストリームライン	（2）	２４（秒）
	（3）	ライズボール	（4）	ジャックル

各２点

3 14	（1） スピードをつけて走りながら，数少ないタッチでボールとともに移動する。 （スピードをもってオープンスペースへ侵入する際に用いる。）
	（2） 体が酸素を十分に利用できなくなる運動強度には個人差があり、そのポイントを迎えると筋肉や血液には急に乳酸がたまって疲労を感じるようになる。長距離走の前半をオーバーペースで走るとそのポイントを早い段階で超えてしまい、乳酸が蓄積するために、その後一気にペースダウンしてしまうから。

各４点

（3）	脚をからめる	うつぶせになる	（ブリッジして） ひっくり返す

各２点

4 9	（1）	①	l （体育理論）	②	f （器械運動）	③	i （陸上競技）
		④	e （水泳）	⑤	j （ダンス）	⑥	k （一つ）
		⑦	b （球技）	⑧	h （武道）	⑨	c （二つ）

各１点

裏面に続く

5	ア	筋道		イ	修正	
8	ウ	保持増進		エ	コミュニケーション能力	各２点
6	（１）	①	合意形成	② 知る	③	スポーツライフ
		④	運動計画	⑤ 障害の有無	⑥	共生社会
17		⑦	危険			各２点
	（２）	生徒自身が協力，責任，参画，共生の意義や価値を認識し取り組もうとする意欲を高めることが求められることから，意義や価値の理解とその具体的な取り組み方を結びつけて指導することが大切である。				３点
7	（１）	①	キ（食事）	② シ（ストレス）	③	サ（不安）
12		④	イ（持続的）	⑤ カ（社会環境）	⑥	ウ（差別）
						各１点
	（２）	ア		（３）	心的外傷後ストレス症（PTSD）	各３点
8	（１）	スポーツ基本法の規定に基づき、文部科学大臣が定めるスポーツに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための重要な指針				
	（２）	４年に一度，世界的規模で行われる聴覚障害者のための総合スポーツ大会。 （参加資格は裸耳状態で、聴力損失が 55 デシベルを超えている聴覚障害者で、各国のろう者スポーツ協会に登録している者とされている）				
16	（３）	しゃくり上げるような途切れ途切れの呼吸，しゃくり上げるような不規則の呼吸， 心臓が停止して間もない人に見られる。				各４点
	（４）	健康情報を入手し、理解、評価して、活用することにより、生涯を通じて生活の質を維持・向上できる力				